



17 改造お印

17

今夜の

のこと

那と捨り起して手紙を一本書かしてくたさい。
 東京の竹山先生に書いて下さい。
 光子 藤川、勸忍してくれ。おたしは
 じししてこれ以上のお金が出来ないかね。
 旦那は前知つて了通り、この漢の
 毒おこすつてさへ五年に止るの
 ぢやないの。お前に渡してあげたお金の
 初の手紙百円といふ金は、お前の早瀬家
 の金財立屋がたのぢやないの。お前はそれか
 らも金の足りぬ金の足りぬといつては
 二百円、三百円と、そのたん心は旦那さ
 は血を吐くやうお思ひをさすつては、竹山先生
 にお手紙を出して金の無心をさすつた。お前、
 旦那さまは、後二月の三月、
 の………それ右のにお前は
 藤川、おのらわたくしは、
 ります。それだけ金の必要です。
 金がおければ、あの………
 くらりです。さあ、どうぞ旦那と捨り起して
 くれ。おたしは、汽車の時了のりませう。後座

MARUZEN I

